




【医療ツーリズム】 当社の取り組み

株式会社南海国際旅行
事業創造部








1. 会社概要

社名	株式会社南海国際旅行 (南海電鉄グループ)
本社住所	〒556-0001 大阪市浪速区難波中1丁目10番4号 南海SK難波ビル8階
設立	1950年(昭和25年)10月6日
登録番号	観光庁長官登録旅行業第29号
登録年月日	1958年(昭和33年)3月11日
資本金	1億円
代表者	取締役社長 清原 康仁
従業員数	207名 (2024年4月1日現在)
営業所数	7ヶ所
主な加盟団体	JATA(日本旅行業協会) IATA(国際航空運送協会) ボンド保証会員、旅行業公正取引協議会 外務省より認定 医療滞在ビザの身元保証機関 【登録番号:A-004】

事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ MICE・団体旅行■ 教育旅行■ 個人向け旅行■ 訪日外国人(インバウンド)<ul style="list-style-type: none">・医療ツーリズム・訪日手配・外国人人材の紹介・派遣■ 鉄道(駅)関連 <p>【法人向け関連サービス】 <BTOL> 次世代出張手配システム <e-出張> 国内出張オーダーシステム <NMES> 参加型イベントの事前受付等をwebで一括管理できる独自システム</p>   
医療ツーリズム事業沿革	<p>2010年 医療ツーリズムに参入 (沿線価値向上、政府の成長分野)</p> <p>2011年 医療査証身元保証機関に認定 (東日本大震災)</p> <p>2014年 吹田徳洲会新規開業・ 国際医療支援室にスタッフを常駐</p> <p>2020年~2022年 実績なし (新型コロナウイルス感染症)</p> <p>2023年 徐々に需要回復</p> <p>2024年 TIMC OSAKA新規開業・運営受託</p> <p>【取扱サービス内容】 健診・治療・セカンドオピニオン・医療滞在査証申請・ 医療通訳の手配</p>

2. 弊社の取扱い内容・実績

メディカルツーリズムサービス内容

1. 健診 代理店様からのオーダーを元に、健診施設の手配 	2. 治療 患者様からの医療情報を元に、最適な医療機関を選定しご提案 	3. 医療滞在査証申請 身元保証機関として、日本で治療を受ける外国人患者様の渡航のサポート 	4. セカンドオピニオン 患者様の医療情報を元に、日本の医療機関と連携し、セカンドオピニオンをご提案 	5. 医療通訳の手配 正確な情報を伝える為、必要に応じて医療通訳の手配 
---	---	--	---	--

取扱実績 (名) ※2020年度、2021年度、2022年度はコロナの為実績なし

	健診	医療査証	治療 (外来含)	合計
2018年度	360	53	65	478
2019年度	541	74	115	730
2023年度	190	51	62	303

※2024年度の目標 健診500名 治療100名

●主な顧客層

- 個人 (早期予防の意識高いお客様)
- 家族・友人団体 (旅行と健診をセット)
- 銀行・保険会社の重要なおお客様及びお得意先様
- 貿易会社・不動産会社などの重要なおお客様及びお得意先様
- 企業社員向け定期健診

3. 医療機関様の課題

最近、海外からの健診・治療の問合せが増えてお困りになっていませんか？

- 問合せばかりで予約や治療に至らない（連絡が途絶える）
- 手続きで必要な診療情報が届かない
- 医療費、キャンセル料金等の未入金が発生し回収できなかった
- キャンセルや変更など、予約から検査までスムーズに行われなかった
- 院内ルールや日本のマナー等、文化的ギャップで問題が生じた
- 受診者が手配した通訳のスキルが低く、検査が滞ってしまった



これらの課題を弊社が解決いたします。

4. 提携医療機関様

関西

国立病院

国立循環器病研究センター病院

大阪府



最高レベルの医学を目指し、成人、小児の心臓病、血管病および脳卒中などに代表される循環器病対策を総合的に推し進めています。

心臓手術数 全国1位 心カテーテル治療数 近畿2位
不整脈治療数 近畿1位 ペースメーカー治療数 全国1位
脳血管疾患治療数 近畿3位

2022年手術数・治療数

治療 健診

セカンドオピニオン

脳疾患病院

富永病院

大阪府



日本トップクラスの手術数と治療成績を誇る脳神経外科病院。

治療 健診

脳血管疾患治療数 近畿2位
脳腫瘍手術数 近畿5位
2022年手術数・治療数

徳洲会グループ

吹田徳洲会病院

大阪府



医療の国際化に積極的な取り組みを目指す病院。外国人専用のVIPルーム等完備しています。

治療 健診

セカンドオピニオン
(オンライン可)

第三者認証

JIH
(ジャパンインターナショナルホスピタリス)

JMIP
(外国人患者受入れ医療機関認証制度)

八尾徳洲会総合病院

大阪府



徳洲会の病院として全国4番目に開院。救急医療を中心に地域医療に貢献しています。

治療 健診

心カテーテル治療数 近畿1位
2022年治療数

岸和田徳洲会病院

大阪府



24時間診療と救急医療に取り組み、地域に根ざした救急病院として発展。

治療 健診

心臓手術数 近畿8位
胃がん内視鏡治療数 近畿4位
大腸がん内視鏡治療数 近畿1位
2022年手術数・治療数

第三者認証

JCI
(Joint commission international)

JMIP
(外国人患者受入れ医療機関認証制度)

大学病院

近畿大学病院

大阪府



特定機能病院としてがんの診断・治療に注力。2013年には循環器内科と心臓血管外科を一体化した心臓血管センターを設置、2016年には最新鋭のハイブリッド手術室を導入。2025年11月、堺市（泉ヶ丘駅）に移転。

治療 健診

セカンドオピニオン
(オンライン可)

食道がん手術数 近畿5位 肝がんアブレーション治療数 近畿4位
膵がん手術数 近畿3位 心臓手術数 近畿5位
2022年手術数・治療数

4. 提携医療機関

関東

国立病院

国立静岡てんかん・神経医療センター

静岡県



総病床数410床のうちてんかん病床200床をもつ世界最大級のてんかんセンター。神経難病・認知症、重症心身障がい診療に特化した専門病院であり専門的なスタッフと設備を備えています。

治療

徳洲会グループ

湘南鎌倉総合病院

神奈川県



2020年4月に厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」に指定。先端医療センターには、がんの3大治療の一つである放射線治療に特化した設備を豊富に取り揃えており、同年4月にPET/CTが稼働、2022年1月には日本国内で19施設目となる陽子線治療の稼働。更に、世界で16施設目となるホウ素中性子捕捉療法（BNCT）の稼働を予定。

治療

健診

セカンドオピニオン

第三者認証

JCI
(Joint commission
international)

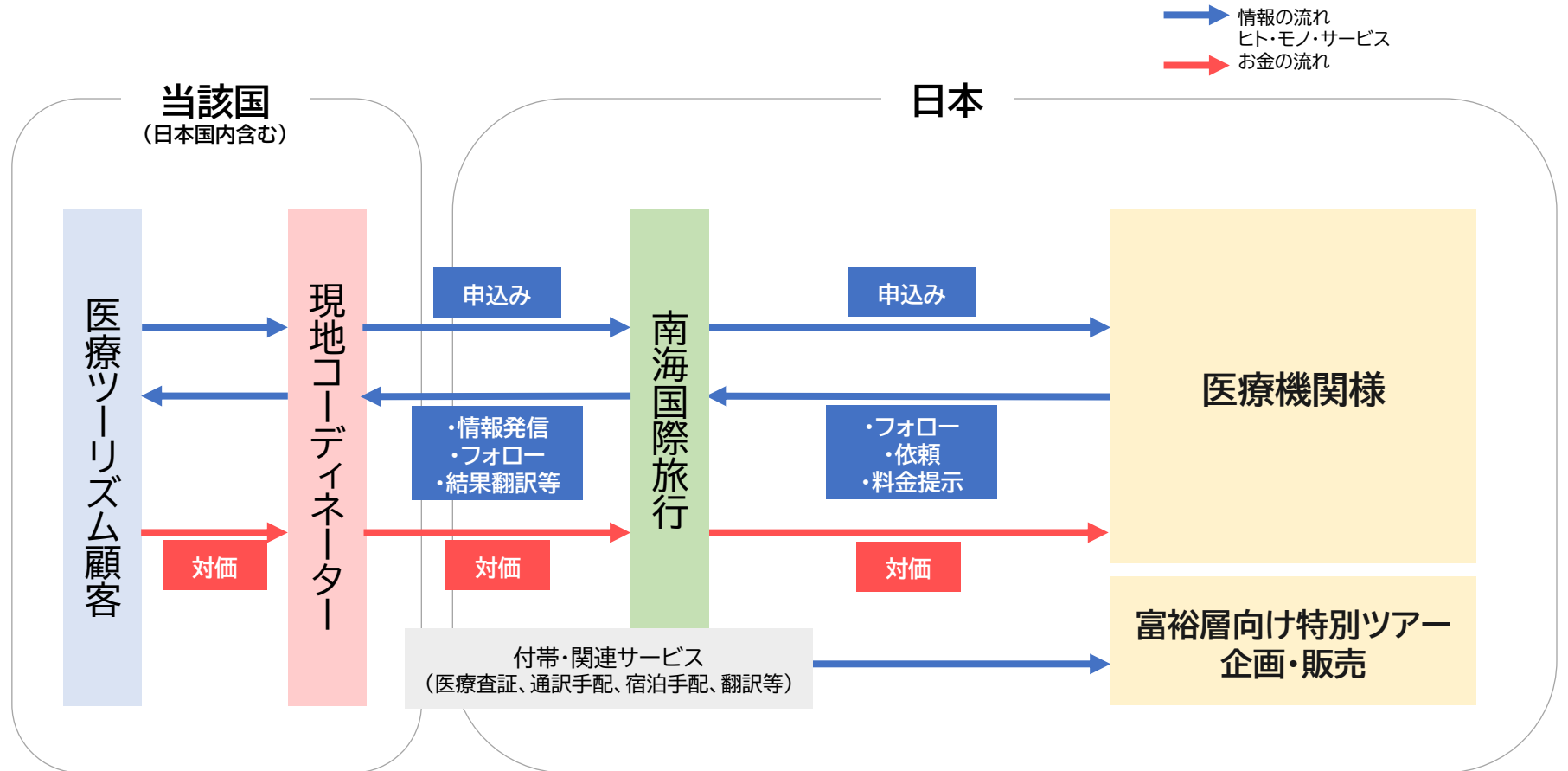
JMIP
(外国人患者受入れ医療
機関認証制度)

心カテーテル治療数 関東4位
不整脈治療数 関東3位
ペースメーカー治療数 関東7位
2022年治療数

出典：『手術数でわかるいい病院2024』.朝日新聞出版,2024

その他、専門クリニック等と多数提携

5. 医療サービスのフロー図

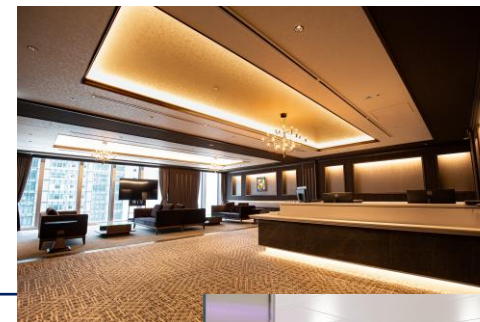


日本での医療サービス提供を希望する訪日客に対し、医療に関する専門的見地から最適な医療機関のコーディネートを一ストップで行うことで、医療サービスの質的・量的向上を目指します。当社は医療サービス以外の滞在に付随するすべてのサービスを提供します。

6. TIMC OSAKA の運営

当社はこれまでの実績を生かしTIMC OSAKAの運営を受託しております。

- ・ 関西地区の販売代理店ネットワークを構築
- ・ 日本国総発給件数約4%の医療査証発給（2018年、2019年）
- ・ 約30名の医療通訳育成 など



集患の取り組み

- ✓ 代理店営業（代理店数：約160社）
 - ・ 代理店への訪問営業（旅行会社や医療、不動産、貿易会社など）
 - ・ 内覧会、個別説明会の実施
 - ・ パッケージツアーの造成
- ※日本国内のみならず中国国内の代理店とも直接契約を行っております
- ✓ 日本企業へのセールス・アライアンス（百貨店や銀行など）
- ✓ プロモーション活動
 - ・ 中国国内の医療博への出展
 - ・ SNSでの情報発信（WeChat、微博）



運営の取り組み

- ✓ ハイレベルなおもてなしを提供
 - ・ 高い接客接遇スキルを備えたコンシェルジュの育成
 - ・ 医療通訳士の事前・定期研修
 - ・ 多言語対応スタッフの常駐
- ✓ サービスレベルの向上
 - ・ 医療通訳士や代理店へヒアリングを実施
- ✓ 旅ナカでの間際の健診申込に対応できる体制を整備
- ✓ 治療連携の強化

7. 今後の展望について



医療と観光の融合の強化。

(いままで)

医療（またはビジネス）目的のお客様が圧倒的に多く、観光のとのセットのお客様はわずかでした。 ※特に中国

(これから)

医療の質と観光の魅力を融合させ、新たな滞在プランの開発

医療ツーリズムと観光の組み合わせにより、お客様（患者様）は健診（治療）だけでなく、旅行を通じて新たな経験や思い出を得ることができるため、今後もこのトレンドは続くと考えられます。